

Per

「運成」と答えて若さと保とう

勝者のインタビュー

森 一久

年末年始は、前年活躍した人や今年期待される人が登場するテレビ番組が多い。ゴルフ賞金王、スホーワ等のタイトル者、最長寿者等々を相手に、聞き手の質問は、「成功の秘訣は？」「収らうていましたね。」「日頃の健康法は。」と、そのうまくいった原因を、ノウハウを何とかきき出して伝えようとする。しかしその答は、多くは「視聴者を満足させる

ものではない。日く「いや全く遅ですぬ」
 「ツキですぬ。最初負けたのでアク抜けした
 。」なかでも横綱を倒した新人力士などは何
 とさきつても「ウア、ウア」というだけの微笑
 ましいシーンを見せてくれる。
 「いや長生きの秘訣などと聞かれても」と
 困りきつている御老人相手に、恰好のつかな
 いアサウシカーが「朝起きは、就寝は、散歩
 は、好物は、」と質問とならべたまうつか
 り「ヨーガルト、いや紅茶キノコなど」と答

えよろものなら、健康食品ブームかまた一つ
まき起るといわけである。

私もそんなシーンを漫然とながめながら、

さすが一芸に秀でる人は謙虚なものだなあれ

と感心したり、フクヨクヨ、イライラしない

の女はいいし、これは尤もと自戒したりして

たか、とうやらこれは単なる謙遜などではな

くて、人生のミステリーがかくされていろ

てはなにかと思ふようになった。

原因さがしの流行

いふと

従来の基準やしきたりが通用しなくなつた
 昨今、国際的にも国内でも、国や企業やまた
 個人が、政策や経営の進め方について、よい
 成果を生むためのポイントやノウハウや秘訣
 を知りたいという欲求が^{たいへん}強くなつた。人間と
 いふのは、この世の中に原因なくして物事は
 起らないと考へたがりまたそのように教育さ
 れてきた生物だから、何かがおきると、とく
 に羨ましいような出来事をみると、その原因
 ・理由を詮索してそれが判ると安心し、まね

人間はとりまぐその一部しか見えないのだ

すれば自分にも幸いがあると思ひて努力して
みたり、その原因が手のとどかないと分れば
、生れかわる他なしとあきらめをつける。
原因さがしといつても、~~も~~歴史の中に前例とさ
がすとか、当事者やその周囲の人に直接あた
つてみることになるわけである。~~が~~ ~~そのとき~~もし
器用な評論家などがその原因なるものを皆の
頭に入りやすい言葉でうまく表現したり、あ
る集団の潜在プライドをくすぐるようないい
方で伝へたりすると、たちまち「それだ、そ

れ。それで行くという大合唱に発展する。
 最近の「民話」ブームもどうもその辺から
 きたように思えるし、^筆官活しという言葉
 とみないののは語呂がわるいからか、不思議で
 ある。「官活」なくしては、国民も筆者の分
 野などい、ホーレスと思うのだが……。
 「^{いとお}老いし」の本質
 始末が悪く、また深刻なところになりかねな
 いのは、当事者が自分のいままでのやり方を
 最善と思いいこんでいるケースであらう。国、

団体、企業、個人にしろ、その主体がいまま
でとつてきたモラル、主義、体制・制度、し
きたり等々——こしらをひつくるめつ文化
——といつては漠然と^{すゑき}て適当な日本語がない
英語のインステイションというのと
うやらぴつたりするが——とにかくいまま
のやり方で何時でも何でも通用するものと信
じこんでいる場合、^{散見する}この状況こそ
「老い」というものの本質ではなからうか
例をあげればきりがないが、超大国には、

ひかて

4

「運がよくて、そうなたたなどと思つてい
は内部にいないよう、時代が変ろうか新
しいものが現れようが、何とか自分のイニ
テイに閉じこめようとし、自分の法律を他国
に押しつける位は朝餞前。昨年のチェルノブ
イリ事故以来「何故米ソだけで原子炉の大
事故が起きるのか」とよく聞かれるので、そ
の如き原因の一つとして筆者は答えること
にして、日本も経済大国などといふ
ぐらゐ、その強い競争力の原因、ノウハウと

求めて来訪する外人も多くなつた。最初のう
ちは、軍備放棄させらへたのが幸運だつたと
か、無我夢中で働いて、なとときわめて形而
~~目的~~な答しかできなかつたけれども、近頃は
「日本式聖堂は……」などという理屈が散見
~~される~~ようになつた。どうやら要注意の初老
の段階にさしかかつたのだらうか。
人間は所詮、「運かいしと思つている間
が花、なのであらう。」

おめり